

農協主導型の繁殖センター等の活用と規模拡大農家の育成による繁殖基盤強化・技術向上

(宮崎県)

- ・農協が地域の規模拡大農家に対し、牛舎を整備して貸し付け、農家の投資負担を軽減。
- ・規模拡大農家は、農協直営繁殖センター・キャトルステーションへ育成牛を安定的に預託し、飼養管理技術の実証試験・研究を下支え。
- ・ステーションが実証した技術を地域の農家が実践することにより、地域全体の飼養管理技術がレベルアップ。

現状と課題

繁殖・キャトルステーションの活用による
中小規模繁殖農家の規模拡大

取組内容

農協と連携した大規模農家が規模拡大により繁殖雌牛を増頭して、
子牛の飼養管理技術向上を牽引

既存の取組

農協直営繁殖センター・
キャトルステーション

〔 預託育成: 660頭/年
子牛生産170頭/年 〕

育成牛
預託
妊娠牛
供給

増頭
繁殖農家
〔 管内平均
14.7頭
(H26) 〕

農協の出資により施設を整備し、子牛の育成
や妊娠牛の供給を開始。

⇒地域の肉用牛繁殖農家は、農協直営の繁殖
センター・キャトルステーションの活用により、
空きスペースを活用した増頭。

課題

小規模農家が多く、キャトルステーションによる規
模拡大効果が小さい中、効果的な増頭を図るため
には牛舎整備による規模拡大を進める必要。

農協のサポート

施設整備事業で
繁殖牛舎を整備

牛舎を貸付

農協直営繁殖センター・
キャトルステーション

斉一性の高い
子牛の出荷

マニュアル化され
た子牛の集約的
飼育管理

飼養管理技術の
実証試験・研究

ワクチネーション方
法、呼吸器疾患等
の実証研究

安定的な
育成牛預託

技術指導

育成牛
預託

中小規模
繁殖農家

肉牛農家の規模拡大
(繁殖・肥育一貫)

繁殖雌牛の増頭
〔 繁殖雌牛: 90頭⇒120頭
肥育: 30頭 〕

子牛の増産

新たな飼養管理技術
の実践

農協主導の取組を
地域のモデル経営
として牽引

地域の飼養管理技術がレベルアップ

効果

牛舎整備による規模拡大で、農協直営繁殖センター・キャトルステーションへ育成牛を安定的に預託
することによりキャトルステーションで実証された飼養管理技術を実践。
大規模農家が率先して取組み、効果を上げることで、地域の中小規模農家も続いて飼養管理技術の
向上に取り組むようになり、地域全体の飼養管理技術がレベルアップ。